

授業科目名・形態	エイジング論 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	檜原登志子・今野 修 ・工藤智美	実務経験の有無	有	開講期	1年後期

【授業の主題】

加齢によるエイジング（Aging）成長・発達の観点や、老化（Senescence）を理解する。老化とは身体的機能や心理的機能の低下について基礎的な知識・疾患を習得する。又、3Aの3つのエイジングのサクセスフル・プロダクティブ・アクティブの理解と支援を考える。老化に伴う心と身体の変化と日常生活への影響について理解する。これらには、人間の成長と発達、老年期の定義、老年期の発達課題、老化に伴う心身の変化の特徴と日常生活への影響、高齢者の心理、老化に伴う心身の変化と日常生活への対応（援助）、高齢者に見られる精神障害とそれに対する対応（援助）が含まれる。

【到達目標】

1. 高齢化、高齢者について身体的、心理的、社会的エイジングのプロセス（過程）と老化セネッセンスの個別性の変化を正しく理解できる。
2. 超高齢化社会のライフスタイル、家族形態、老いの意味の変化を理解できる。
3. エイジングや老化による日常生活への影響を理解し、リスクマネジメントを理解できる。
4. 高齢者のイメージを正しくし、正確な高齢者像を理解できる。

【授業計画・内容】

第1回	人間の成長と発達の基礎知識（ペーパー演習）	（ 檜原 ）
第2回	人間の発達段階と発達課題・発達理論	（ 檜原 ）
第3回	人間の発達段階と発達課題・老年期の定義	（ 檜原 ）
第4回	老年期の特徴と発達課題・老年期を巡る今日的課題	（ 工藤 ）
第5回	老化にともなう身体の変化と生活・心理的变化	（ 工藤 ）
第6回	老化にともなう身体の変化と生活・社会的変化	（ 工藤 ）
第7回	高齢者と健康・健康長寿にむけての健康	（ 工藤 ）
第8回	高齢者と健康・精神疾患	（ 工藤 ）
第9回	保健医療職との連携・職種との連携 事例	（ 工藤 ）
第10回	認知症サポーター養成講座・ゲストスピーカー	（ 檜原 ）
第11回	高齢者の症状・疾患の特徴（体験演習）	（ 檜原 ）
第12回	高齢者に多い疾患・症状の特徴と生活上の留意点①	（ 今野 ）
第13回	高齢者に多い病気・症状の特徴と生活上の留意点②	（ 今野 ）
第14回	高齢者に多い病気・症状の特徴と生活上の留意点③	（ 今野 ）
第15回	まとめ（ペーパー演習）	（ 檜原 ）

【授業実施方法】

基本は講義形式。必要に応じ（高齢者の立場に立つて生活状況を考えるケア者になる為に、事例の視聴覚教材）等を視聴して、状況を洞察し思考する。演習も行う。

【授業準備】

ニュースや新聞などで報道される、社会の高齢者の問題に関心を向け日々研鑽してください。「事前学習」と「事後学習」の課題を提供し、提出を求めます。

【主な関連する科目】

「老年看護学概論」「病態治療学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（精神科）」「保健・医療と法律」「日常生活支援技術」

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会 最新・介護福祉士養成講座12 「発達と老化の理解」第2版 中央法規出版、2022

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

筆記試験 85 %、課題学習レポート提出 10%、授業態度 5% の 総合評価とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院第3次救急、大学病院教育・研究の場で、看護師、主任、師長の実務経験や認知症専門士からケアを受ける人すべてに生命安全第一、尊厳を持ち接し、安心安楽な生活を支援できるケア者となるための学習支援をいたします。

【学生へのメッセージ】

高齢者に関心をよせて正しく理解することが学習の第一歩です。高齢者を取り巻く社会の状況・情報にも関心を寄せて下さい。